

～劇遊び「世界で一番なかよしの冒険」ができるまで～
5歳児 すみれ組

研修テーマ「自己肯定感を高め、
豊かな感性と表現力を育む～友達
と一緒に楽しむ子をめざして～」

★活動で育った力

【はじめは・・・】

「お話の中で、何にでも変身できるとしたら何に変身してみたい？」
という投げかけをすると「う～ん何がいいかな」とじっくり考える
子、「私最初から決まってるの」と即決の子といろいろな姿が見られ
ました。そんな子どもたちから出てきたのは生き物だったり乗り物
だったりそれぞれの思いが詰まった、個性豊かな役がいっぱい！

★想像力



お姫様をどうやって連れて行く？

人魚は海の宝を守ってるんだよ。

魔法使いは良い人？

戦ったらお腹がすいちゃうからサンタ
さんにラーメンもってきてもらおう。

相撲で勝ったらお宝を返してもらおうってどう？

【次はお話を考えよう！】

みんなが変身したいものを言っていくと、「鬼になってみ
たい！」という声。すると「鬼って暴れて街を壊すんだよ
ね」「鬼がみんなの宝物をもってっちゃうのはどう？」「お
姫様も連れて行かれちゃうんだよ」など次々とアイデア
があふれ出てきました。

子どもたちから出てきたアイデアをすべてホワイトボ
ードに書き留め、何日もみんなで話し合いを重ねながら、
すみれ組だけのお話を作っていました。

★想像力★言葉で伝えようとする力★相手の思いを聴く力

どんなお話になるのかな？
わくわく♪

暗い森だから、草も緑じゃなくて黒にしよう。

【お話には何がいる？】

お話が決まってくると、子どもたちの中にはお話の世界
観が広がっていきます。「お城が欲しい」「ダークブ
ラックの住んでるところは暗い森なんだよ」「ラーメンサンタが
持ってくるラーメンは大きいラーメンにしよう」
劇には何が必要なのかを考え、みんなで一緒に作りまし
た。

★思考力★創造力★想像力★材料を選び取る力（選択力）
★共同性

一緒に塗れば早いよ！

ラーメンのねぎは画用紙で作ろう

ドアは違う色で塗ろうよ。

だんだん出来てきたね。
はやく劇やりたいなあ♪

【よし！やってみよう！】

いよいよ、自分たちがやりたい役になって、お話をすすめてみよう！・・・とはいうものの、「なんて言えがいい？」「鬼ってどんな歩き方がいいのかな？」最初はなかなかお話が進みません。

★表現力



泣く時ってどうやればいいの？

『全員合わせて！ダークブラックだ！』



【よし！やってみよう！②】

困った時はみんなで考えよう！「鬼はもっとゆっくり歩いてきた方が強そう」「出てきたときにポーズを決めたら？」「泣く時はもっと悲しい顔の方がいいよ」友達と一緒に考えたら、たくさん良いアイデアが出てきました。

★思考力★伝える力★表現力★協同性

【みんなで作るお話だよ】

みんなで遊んでいる内に「それじゃ声が小さくてお客さんに聞こえないよ！」「魔法がかかった時に立ってるんじゃつまないよ。回ってみたら？」と見ている子から指摘も・・・でもそれを聞いて、表現が変わると「いいじゃん！」「さっきよりもっともっといよいよ！その調子！」友達同士で認め合っていくことが自信につながり、よりのびのびと演じる姿が見られるようになりました。

★思考力★伝える力★表現力★協同性★認め合う力★自己肯定感

温かく認めてくれる仲間がいるから、どんどん役になり切って演じるのが楽しくなってきたね。



大きいラーメンだから重そうに運ぼう。

準備はいい？出発！進行！



はい、チーズ！

ここはみんなで気持ちを合わせて「いただきます！」って言おうよ。



【みんなでやるから楽しいね】

大道具の準備や片付けも自分たちで行います。セリフが出てこなかったり、道具を出し忘れてしまった時はこっそり友達に教えるなど、自分たちで作ったお話だからこそ、自分たちで進めていこうとする意欲的な姿が見られます。

★協同性★最後までやり遂げようとする気持ち★自分たちでやろうとする（自立心）



2人でハート♡



【みんなでやるから楽しいね②】

最後はそれぞれの役になりきったポーズで自己紹介。同じ役の友達と一緒にポーズを考えたり、毎回違ったり、最後まで楽しく演じています。

★表現力